

「第14回 愛媛県労働者定期観測調査」報告書 (2018年5月調査)

2018年10月26日

[はじめに]

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内労働者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内労働者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では、2018年5～6月に実施しました「第14回調査」の結果を報告します。調査にご協力いただきました加盟団体・事業所、ご回答いただきました方々にお礼申しあげます。

[調査概要]

- ① 調査名称：愛媛県労働者定期観測調査（愛媛県労働者短観）
- ② 調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する100団体・事業所の労働者
- ③ 調査項目：労働者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等
- ④ 調査実施期間：年2回5月・11月、第14回調査 2018年5月14日～6月15日
- ⑤ 回答数：第14回調査登録者数：465名、回答者数：333名、有効回答数：330
- ⑥ 調査方法：質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

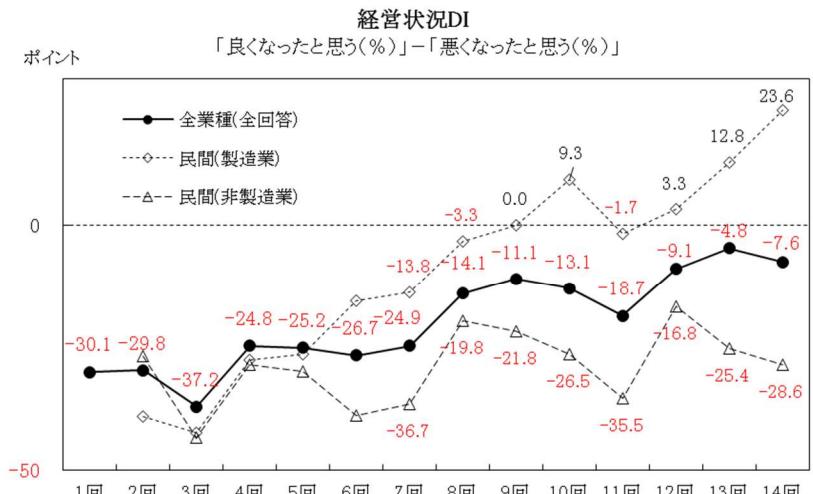
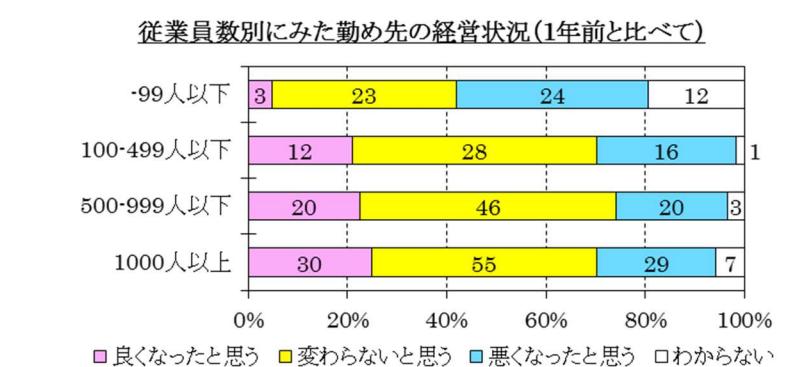
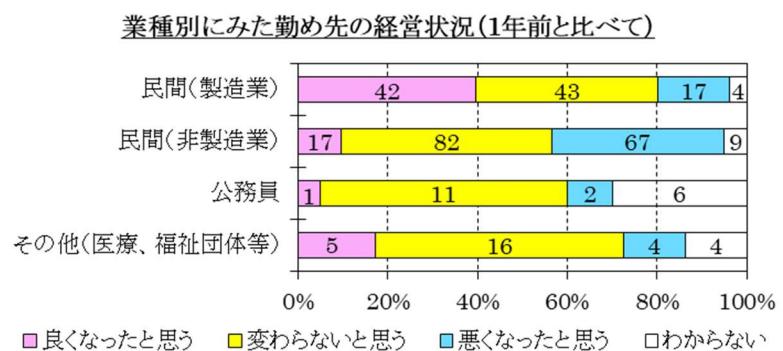
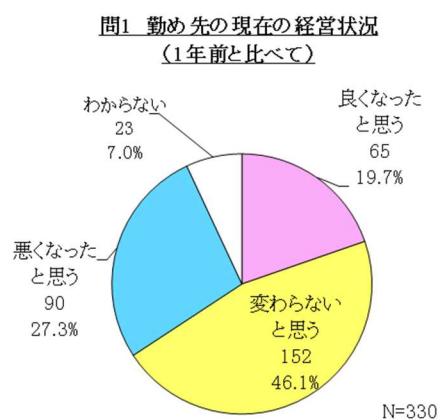
[主な調査結果概要・総括]

1. 業況 前回調査（2017年11月）と比べ、愛媛県内労働者から見た県内の経営状況DIの改善にややブレーキがかかった。業種別で見ると、製造業のDIは引き続き改善したのに対し、非製造業ではさらに悪化した。回答を規模別（従業員数別）で見ると、「99人以下」で良くない。（問1）
2. 賃金収入 1年前と比べた賃金収入は、前回調査と比較して「増えた」の割合が増加した。その結果、全体の賃金収入DIが上昇し、業種別でも、製造業、非製造業とともに、賃金収入DIが上昇した。（問4）
3. 世帯の暮らし向き・生活の満足感 3期連続していた暮らし向きDIおよび生活満足DIの上昇にブレーキがかかった。この2つのDIの動きには、経営状況DIの動きとの関連性が見られた。（問10、11）
4. 総括 今回第14回調査（2018年5～6月）では、県内労働者から見た愛媛県内の業況は「やや減速」であった。特に非製造業での減速が目立った。他方、全体の賃金収入DIが上昇しており、今回の調査結果に関する限り、景気のトレンド自体に変化が生じているとは判断できなかった。当面、非製造業の状況に注意が必要であろう。

[調査結果]

1. 勤め先の経営状況について

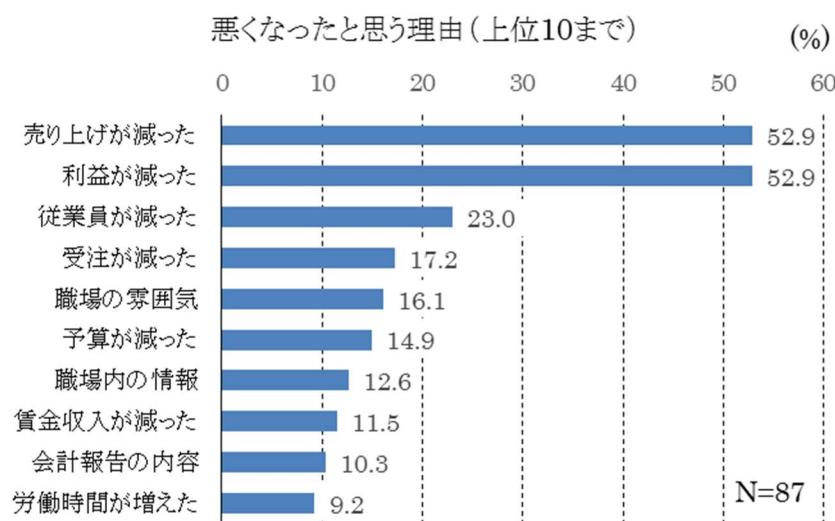
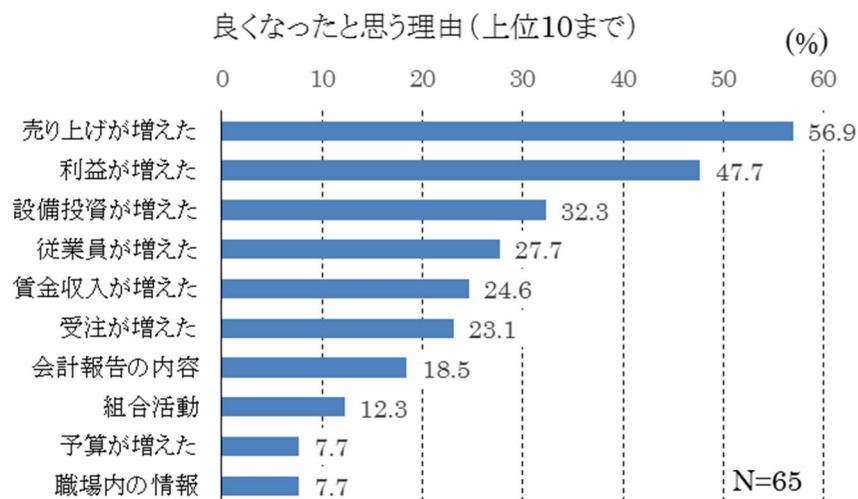
「勤め先の経営状況」については、「悪くなったと思う」の割合が増加し、「変わらないと思う」の割合が減少した。その結果、経営状況DIを全業種で見ると、わずかに下落した（2.8ポイント低下）。経営状況DIを業種別に見ると、製造業で上昇が続いているのに対し（10.8ポイント上昇）、非製造業で下落が続き（3.2ポイント低下）、製造業と非製造業の間で格差が広がった。クロス集計で見ると、業種別では非製造業、規模別（従業員数別）では「99人以下」で「良くなったと思う」の割合が小さく、「悪くなったと思う」の割合が大きい。



(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

1-1. 勤め先の経営状況について、「良くなったと思う」理由、「悪くなったと思う」理由

「良くなったと思う」理由、「悪くなったと思う」理由とともに、これまでの調査時と大きな変化はなく、「利益」の増減と「売り上げ」の増減が上位となつた。

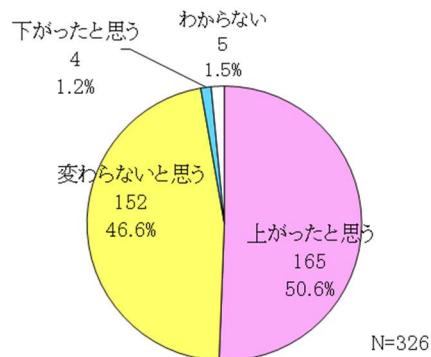


2. 物価について

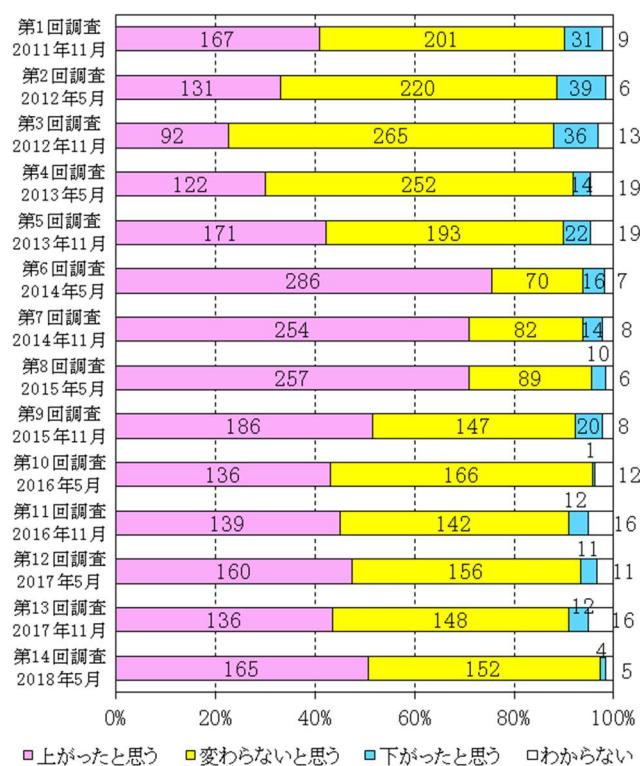
1年前と比べた「身の回りの物価」については、前回調査と比較して「上がったと思う」の割合が増加し、身の回り物価DIは上昇した(9.6ポイント上昇)。

問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格

(1年前と比べて)



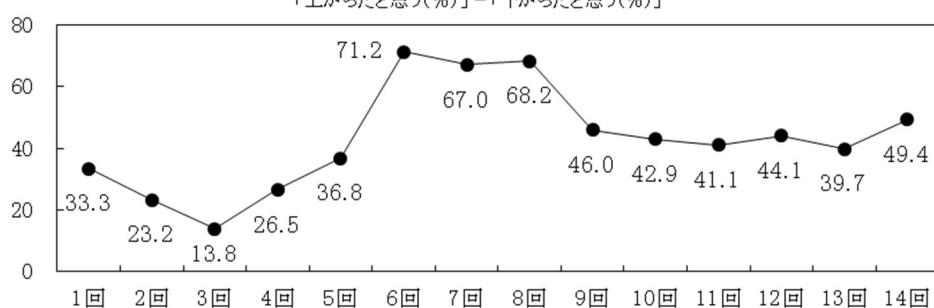
問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



■上がったと思う ■変わらないと思う ■下がったと思う □わからない

ポイント

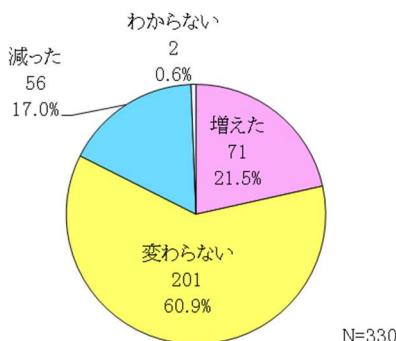
「上がったと思う(%)」-「下がったと思う(%)」



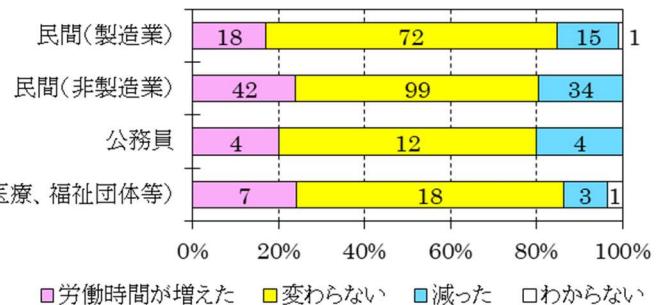
3. 実労働時間

最近の実労働時間については、前回調査と比較して「増えた」の割合がやや減少し、「減った」の割合が僅かに増加した。その結果、労働時間DIは下落した（6.0ポイント低下）。業種別で見た場合、製造業でのDIの下落幅が大きかった（11.6ポイント低下）。

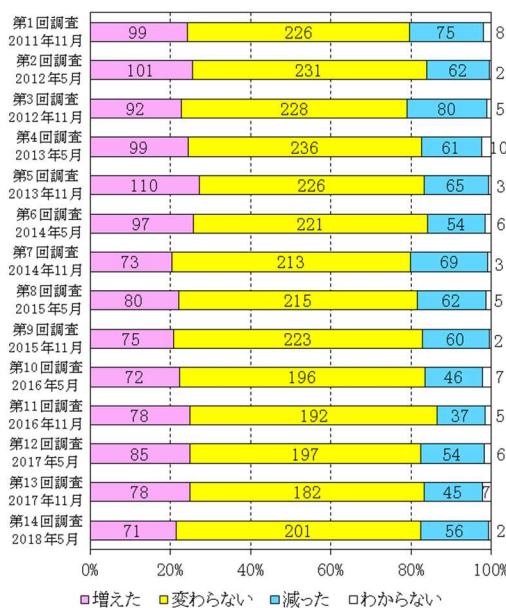
問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)
(1年前と比べて)



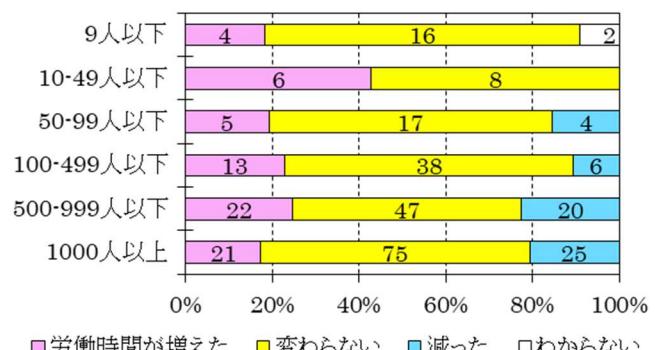
業種別にみた労働時間の変化(1年前と比べて)



問3 最近の実労働時間
(全業種、残業・休日出勤を含む、1年前と比べて)

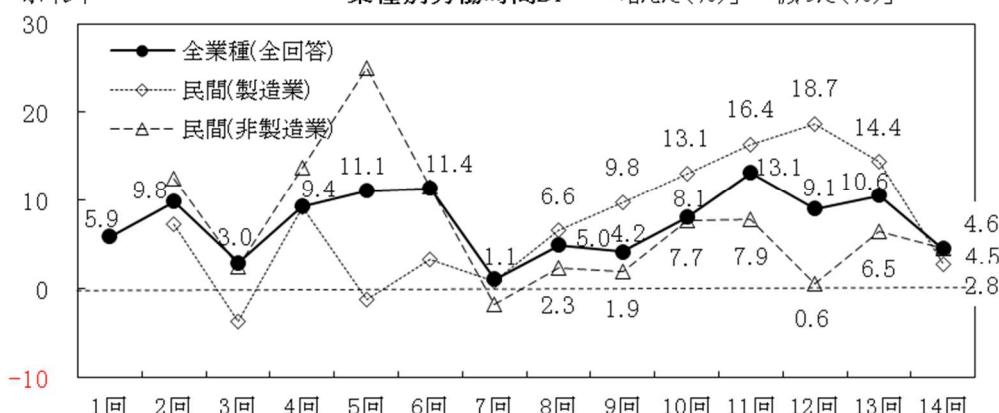


従業員数別にみた労働時間の変化(1年前と比べて)



ポイント

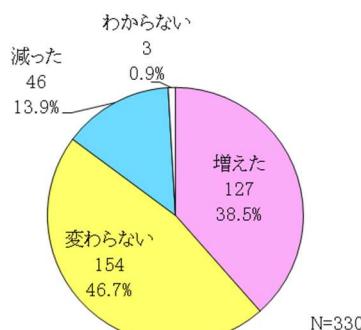
業種別労働時間DI 「増えた(%)」-「減った(%)」



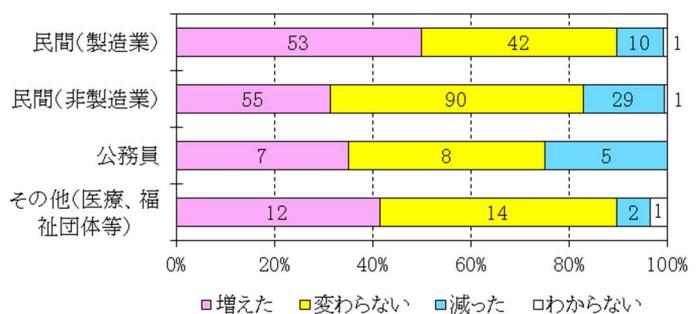
4. 賃金収入

前回調査と比較して「増えた」の割合が増加し、「変わらない」の割合が減少した。全体で見た賃金収入DIは増加（7.5ポイント上昇）。年齢別では若い層で、従業員数別では100人以上の事業所で、「増えた」とする割合が高かった。業種別では製造業のDIで14.2ポイント上昇、非製造業のDIでも14.1ポイント上昇した。

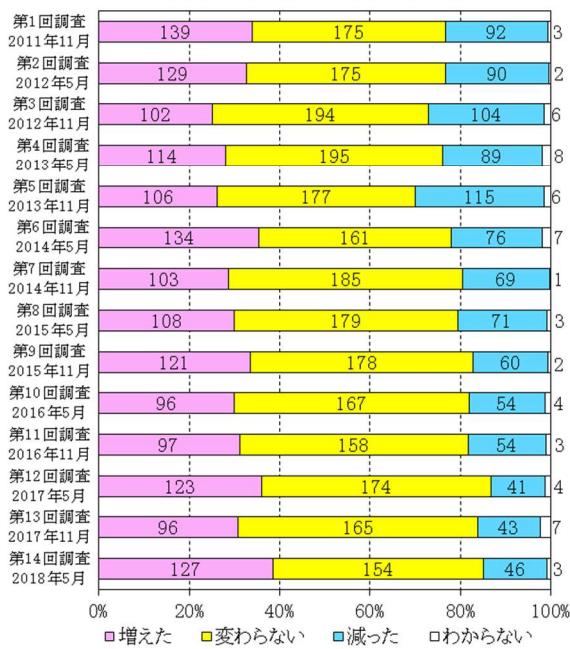
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



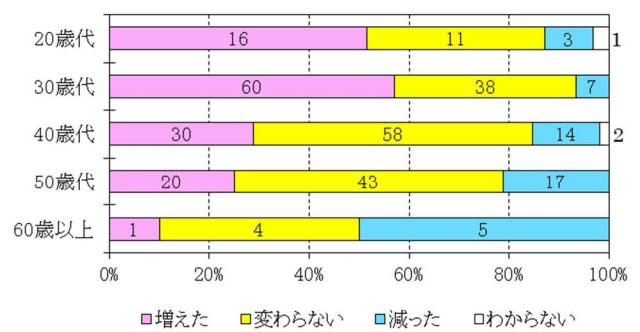
業種別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



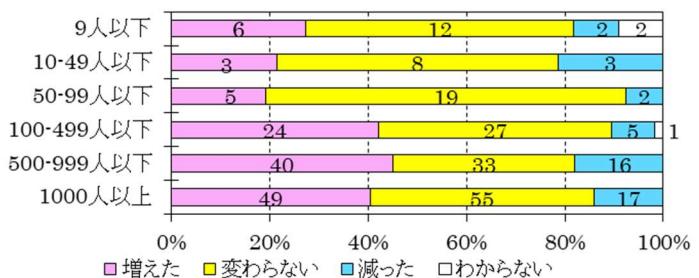
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



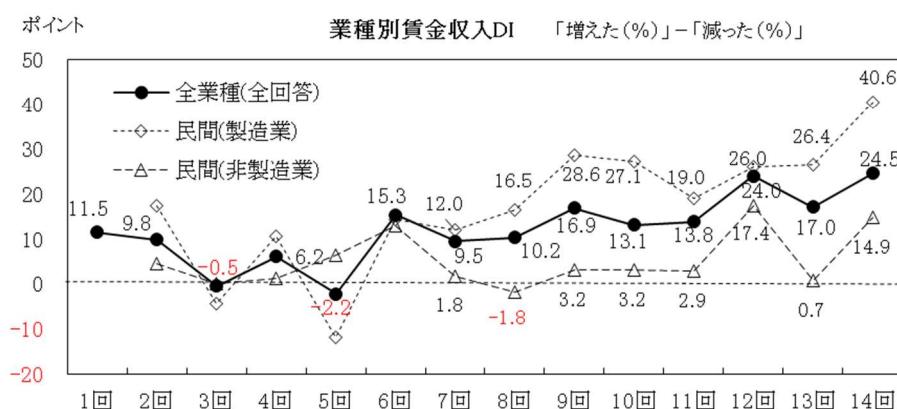
年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



従業員数別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



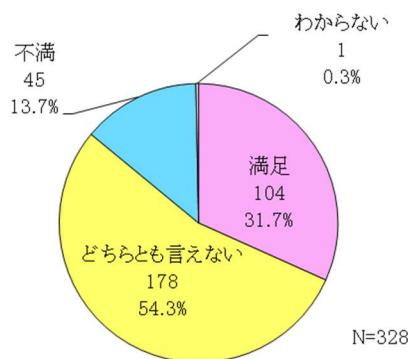
ポイント



5. 勤め先の仕事の満足感

勤め先の仕事の満足感について、前回調査と比較して「満足」「不満」とともに僅かに割合が減少した。その結果、仕事満足DIは横ばいとなった（0.9ポイント低下）。勤め先の「経営状況」「賃金収入の増減」との間に関連性が見られた。

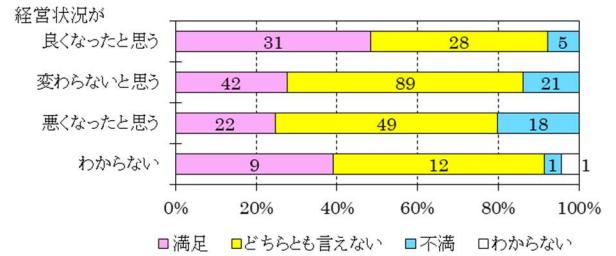
問5 仕事の満足感



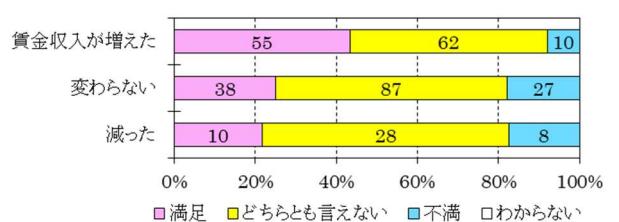
問5 仕事の満足感



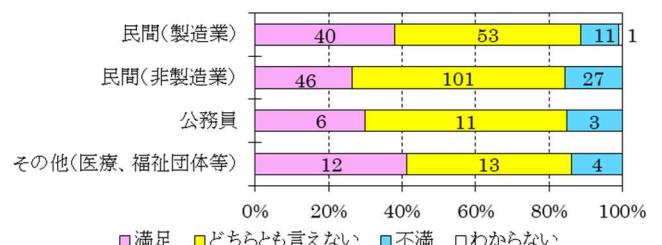
経営状況別にみた仕事の満足感



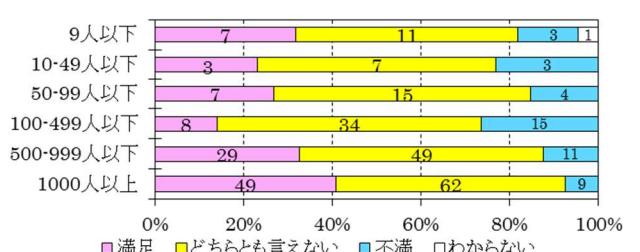
賃金収入の増減別にみた仕事の満足感



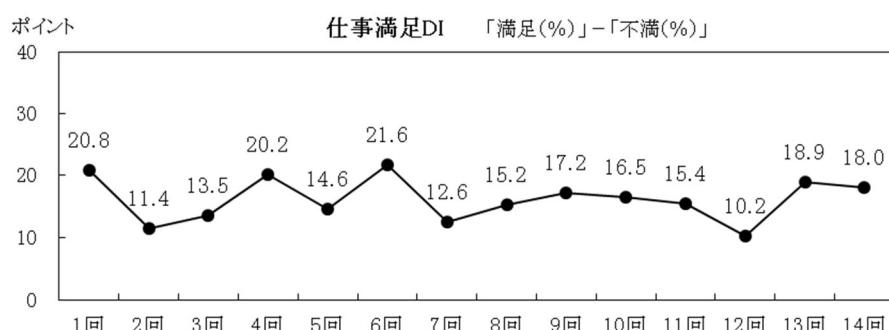
業種別にみた仕事満足度



従業員数別にみた仕事満足度



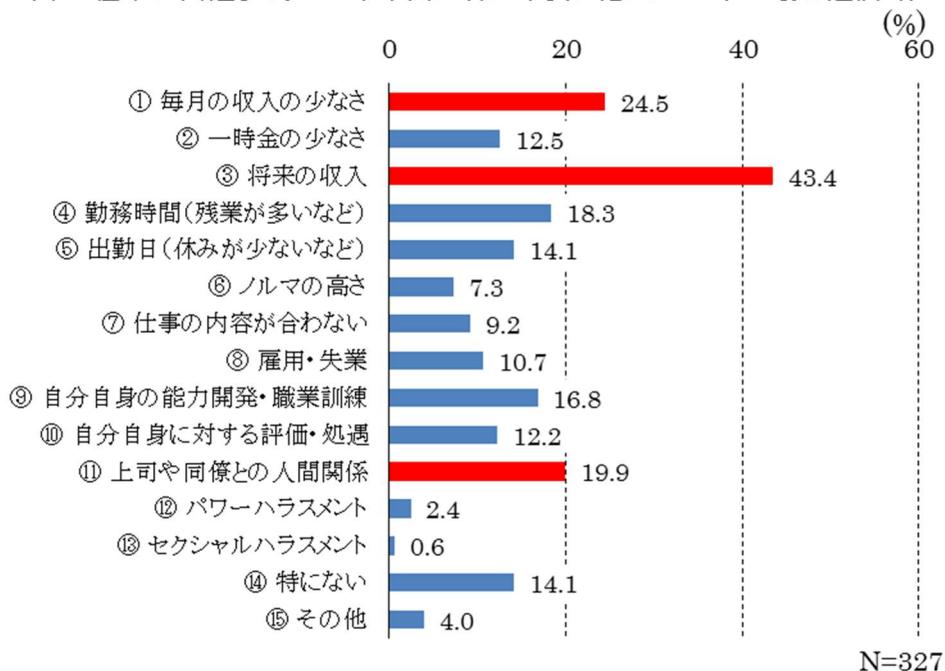
ポイント



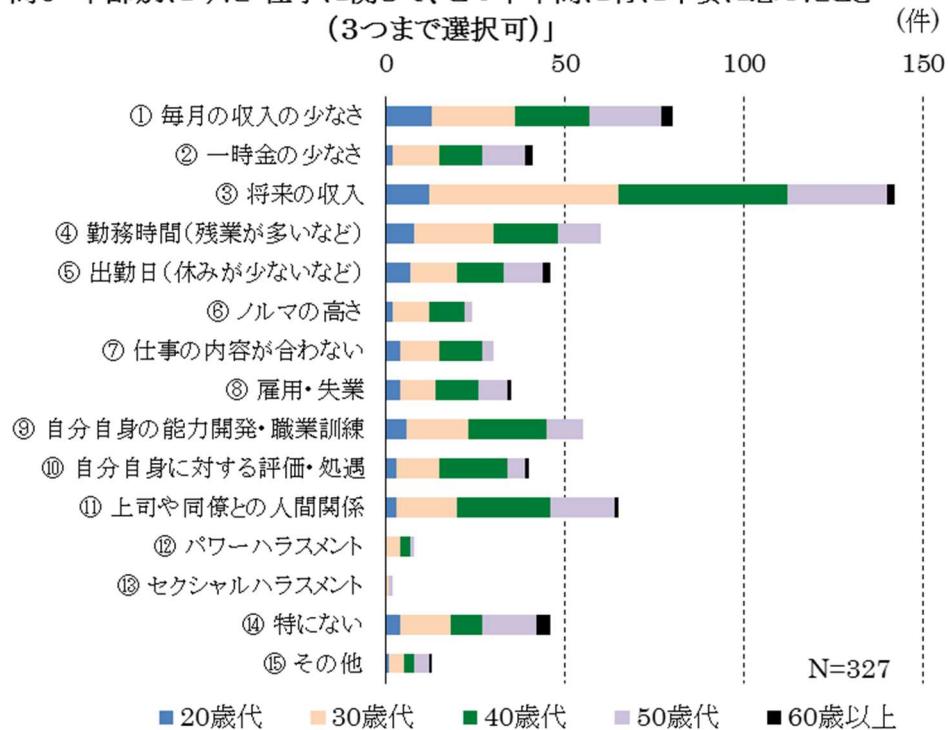
6. 仕事に関して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと

今回の調査で最も多い回答は③「将来の収入」（回答数142件、43.4%）、2番目は①「毎月の収入の少なさ」（同80件、24.5%）、3番目は⑪「上司や同僚との人間関係」で（同65件、19.9%）であった。

問6 仕事に関して、この半年間に特に不安に思ったこと(3つまで選択可)



問6 年齢別にみた「仕事に関して、この半年間に特に不安に思ったこと

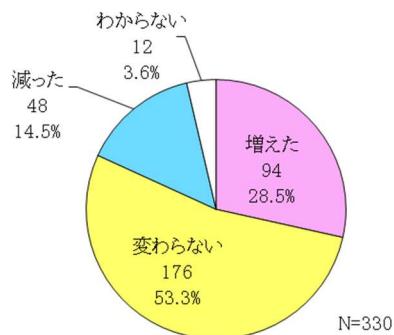


〈暮らし向きについて〉

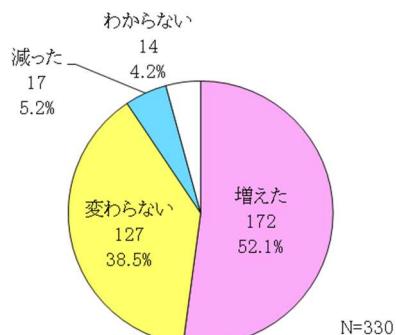
7. 世帯全体の収入、支出（問7、問8の結果）

世帯収入DIはやや上昇し（4.6ポイント上昇）、世帯支出DIも僅かに上昇した（2.1ポイント上昇）。長期的に見て、世帯支出DIが横ばいで推移しているのに対して、世帯収入DIは緩やかではあるが改善傾向が見られる。

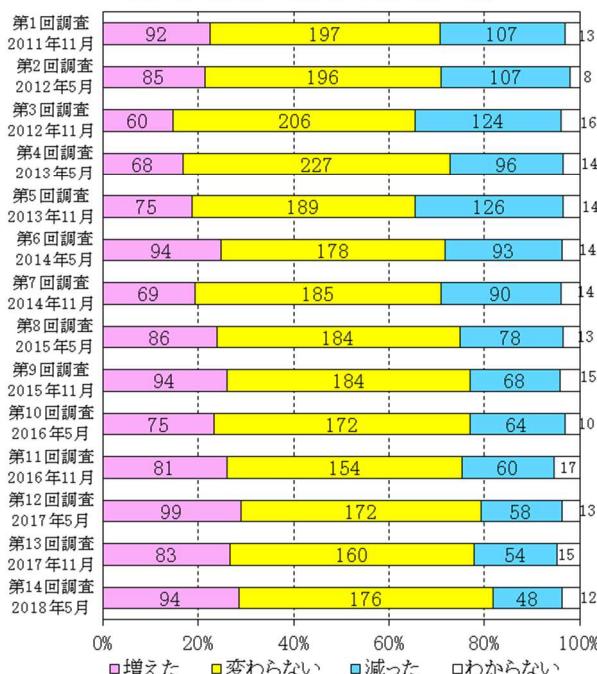
問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



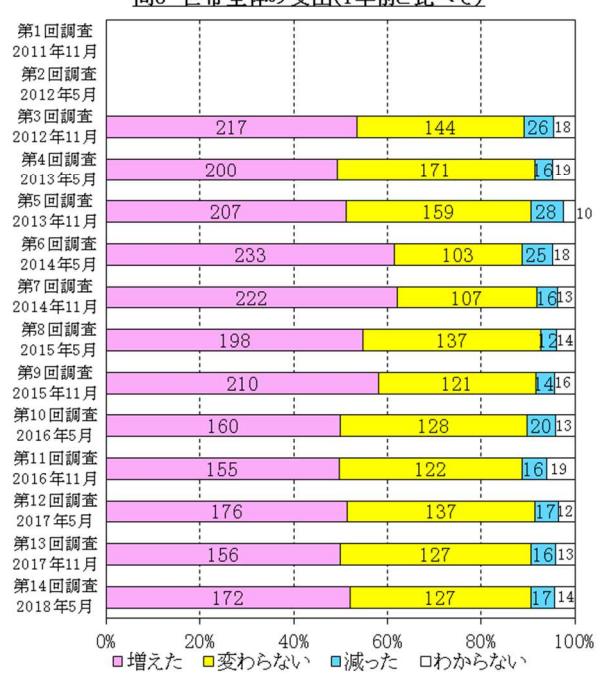
問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



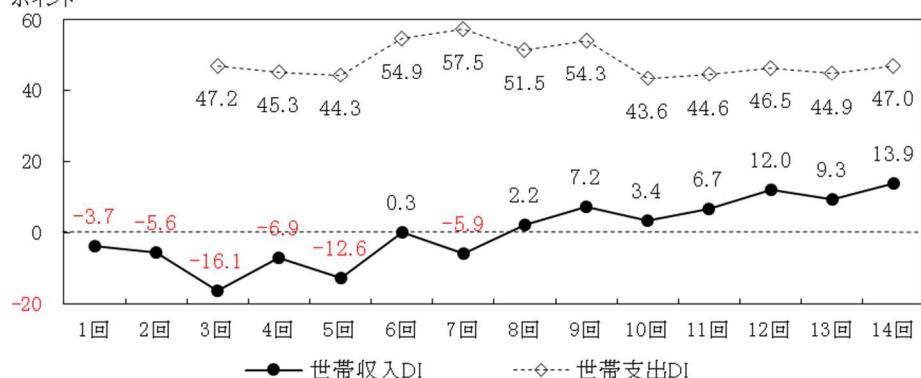
問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



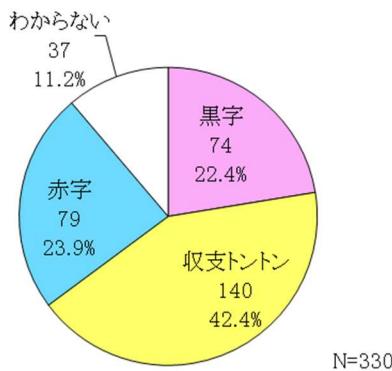
世帯収入DI・世帯支出DI 「増えた(%)」-「減った(%)」



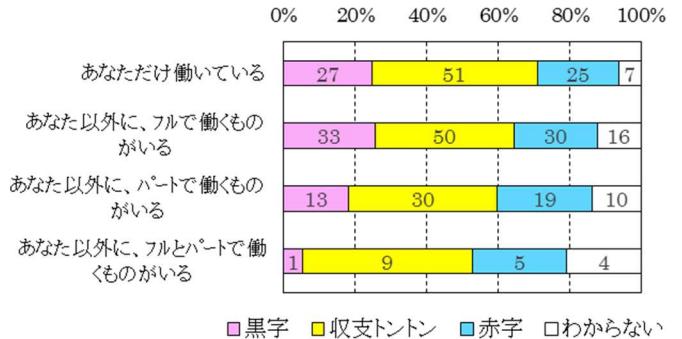
8. 世帯全体の収支

世帯全体の収支は、前回調査と比較して「黒字」の割合が減少し、「赤字」の割合が増加した。その結果、世帯収支DIは下落した(9.5ポイント低下)。

問9 1年間の世帯全体の収支



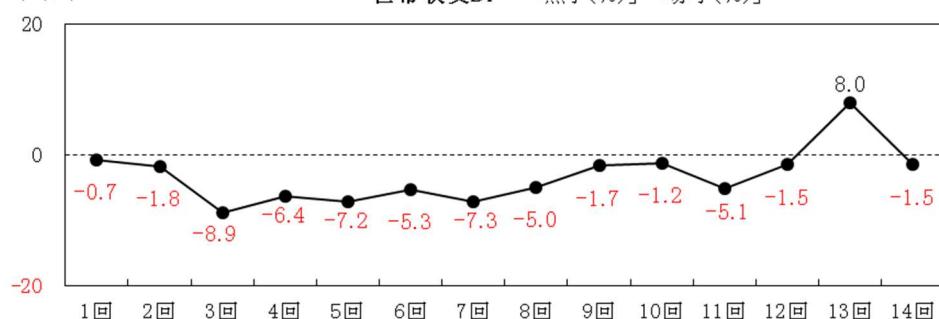
世帯の就労状況別の家計収支



問9 1年間の世帯全体の収支



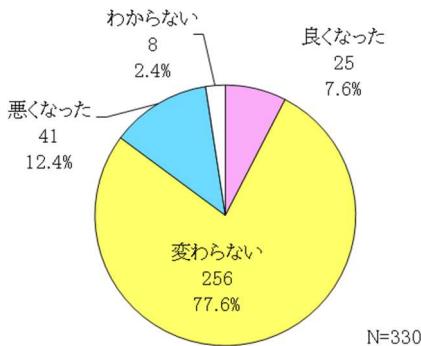
世帯収支DI 「黒字(%)」-「赤字(%)」



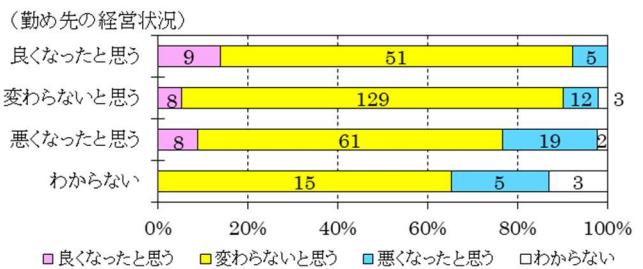
9. 世帯の暮らし向き

世帯の暮らし向きは、前回調査と比較して「良くなった」「悪くなった」の割合が僅かに減少した。その結果、世帯の暮らし向きDIはほぼ横ばいであった（1.0ポイント低下）。この設問への回答と「勤め先の経営状況」「世帯の収支状況」「賃金収入の増減」（右下の3つのグラフ）に関連性が見られた。

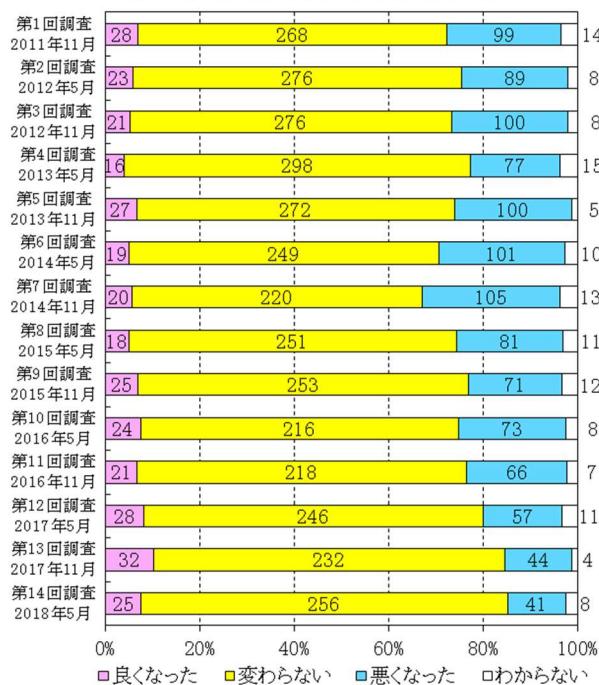
問10 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



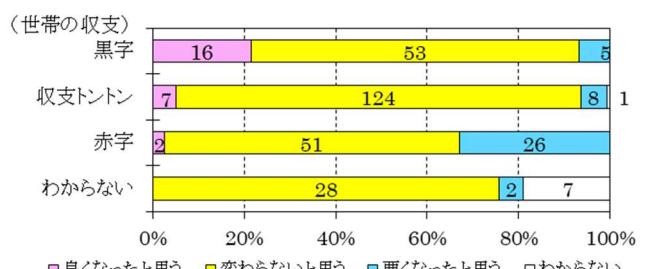
勤め先の経営状況別にみた世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



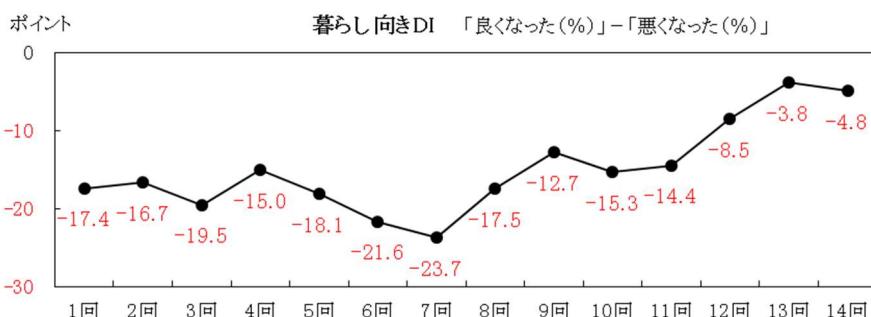
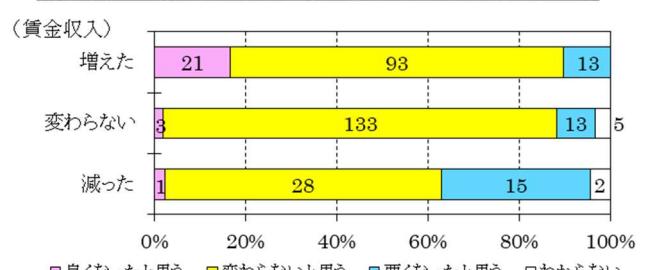
問10 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



世帯の収支状況別にみた世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



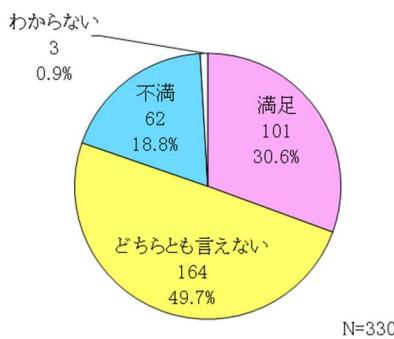
賃金収入の増減別にみた世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



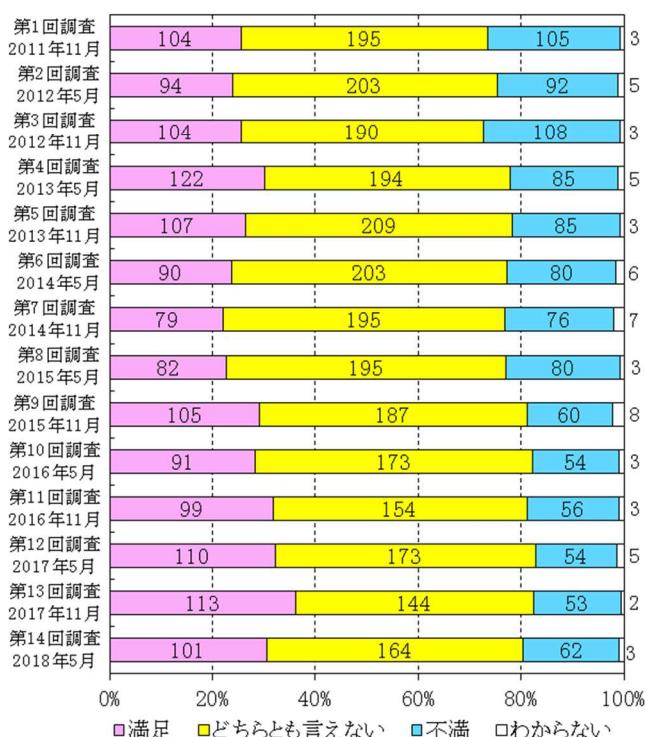
10. 生活の満足感

生活の満足感は、前回調査と比較して「満足」の割合が減少し、「どちらともいえない」「不満」の割合が僅かに増加した。その結果、生活満足DIは前回から腰折れし下落した（7.4ポイント低下）。これまでの調査結果と同様に「賃金収入の増減」「世帯収支」「仕事の満足感」「暮らし向き」「年収」との関連性が見られた。

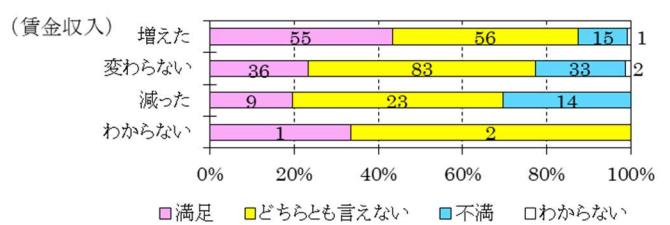
問11 生活の満足感



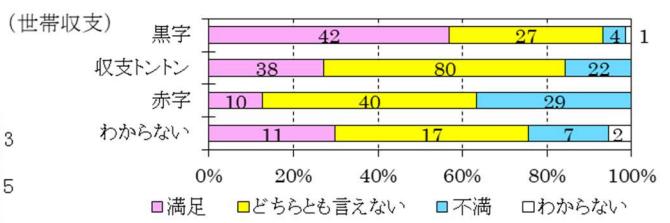
問11 生活の満足感



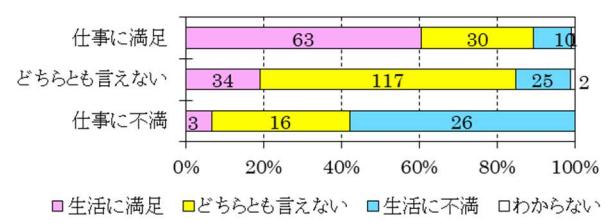
賃金収入の増減別にみた生活の満足感



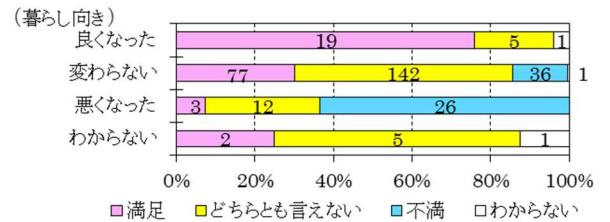
世帯収支別にみた生活の満足感



仕事の満足感と生活の満足感

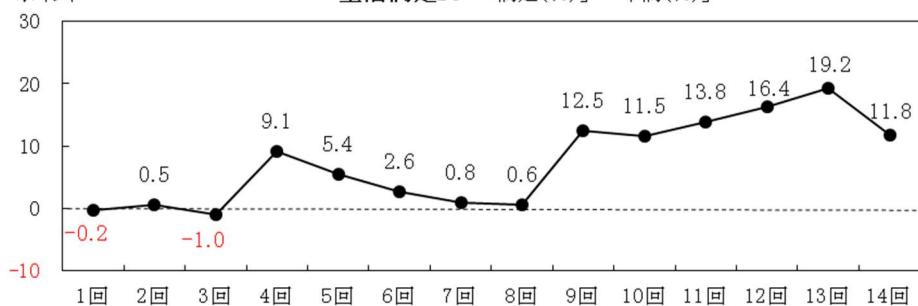


世帯の暮らし向きと生活の満足感



ポイント

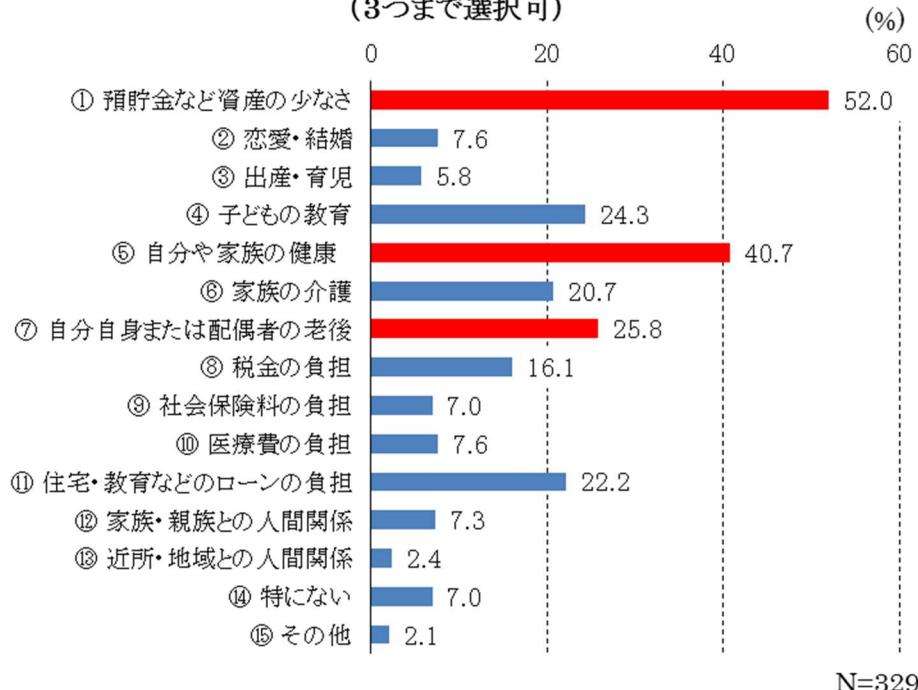
生活満足DI 「満足(%)」-「不満(%)」



11. 暮らし向きに関して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと

今回の調査で最も多い回答は①「預貯金などの資産の少なさ」（回答数171件、52.0%），2番目は⑤「自己や家族の健康」（同134件、40.7%），3番目は⑦「自分自身または配偶者の老後」（同85件、25.8%）であった。

問12 暮らし向きに関する、この半年間に特に不安に思ったこと
(3つまで選択可)



問12 年齢別にみた「暮らし向きに関する、この半年間に特に不安に思ったこと
(3つまで選択可)」

